

平成 24 年度季節ハタハタ漁況予報

平成 24 年 11 月 19 日

水産振興センター

1 成熟度（生殖腺指数）の推移

ハタハタ雌の生殖腺指数（卵巣重量／内臓除去重量×100）が 20 に達した日とハタハタの初漁日との間には正の相関があり、この指数が 20 に達した日が早ければ初漁日も早い傾向が認められる。本年は、生殖腺指数が 20 に達したのは 10 月 21 日と推定された（図 1）。これは記録がある昭和 45 年以降では平年並みである（表 1）。

2 初漁日の推定（初漁日：初セリが行われた日）

生殖腺指数と初漁日との間に回帰直線を当てはめると、初漁日は 11 月 29 日と推定された（図 2）。今後、水温の低下が順調に進んだ場合は、今季の季節ハタハタは予想よりも早く接岸する可能性もある。

3 海況と気象

観測定点における 11 月初めの水温観測結果を表 2 に示す。入道崎沖 5 マイルでは、表層から水深 150 m までほぼ平年並みで、それ以深はやや高めであった。

11 月 16 日気象庁発表の予報によれば、東北地方日本海側の 11 月 17 日～30 日の気温は平年並みあるいは低めで推移するとしており、12 月前半についても冬型の気圧配置となる予想であることから、気温は今後順調に低下すると考えられる。

4 魚体組成

11 月の底びき調査でのサイズ組成を図 5、6 に示した。割合が高いのは、雌では 14.5 cm（1 歳）と 18 cm（2 歳）であり 20cm 以上（3－4 歳）も比較的多く、雄は 14 cm（1 歳）と 16.5 cm（2 歳）が主で、雌雄とも 1、2 歳が高い割合を占める。

ま と め

【初漁日】

成熟度の推移からは 11 月 29 日（±3 日）と推定された。

今後の気温及び水温は順調に低下する見込みである。ただし、時化が続く場合は、予想よりも早く接岸する可能性がある。

【魚体組成】

雌雄とも中型が主体であるが、大型と小型も比較的多いと予想される。

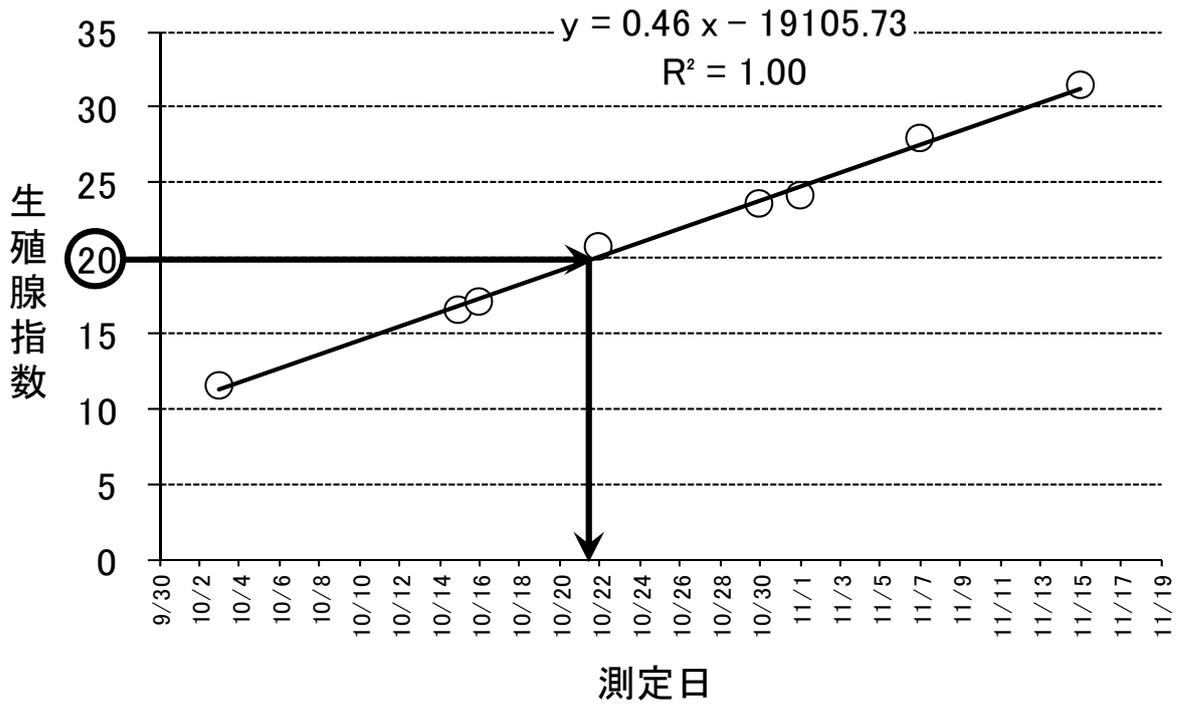


図1 ハタハタ(メス)の生殖腺指数の推移(平成24年10~11月)

【今年の傾向】

回帰直線から、メスの生殖腺指数が20に達した日を10月21日と推定した。

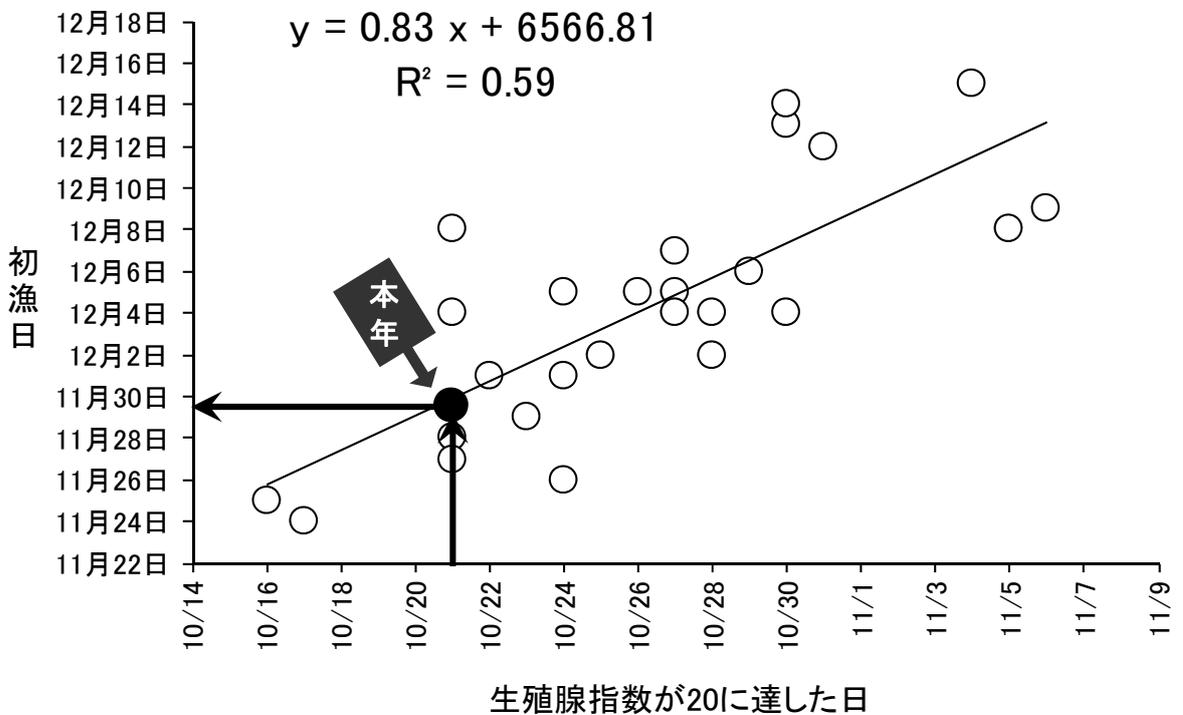


図2 生殖腺指数が20に達した日と初漁日との関係(S58~H23年)

【今年の傾向】

回帰直線から推定される本年のハタハタ初漁日は、11月29日となった。

表1 ハタハタ(メス)の生殖腺指数が20に達した日と初漁日との関係

年度	生殖腺指数 ^{※1} が 20に達した日	予想された初漁日		初漁日
昭和45	10月18日			12月2日
46	10月20日			12月1日
47	10月27日			11月23日
48	10月19日			11月25日
49	10月24日			11月23日
50	10月26日			12月1日
51	10月26日			11月28日
52	10月26日			12月15日
53	-			12月4日
54	10月26日			12月17日
55	11月1日			12月2日
56	10月27日			12月11日
57	10月26日			12月15日
58	10月27日	12月7日	± 5日	12月5日
59	10月30日	12月9日	± 5日	12月4日
60	10月31日	12月10日	± 5日	12月12日
61	10月28日	12月5日	± 5日	12月4日
62	10月24日	12月1日	± 5日	12月5日
63	10月28日	12月7日	± 6日	12月2日
平成元	10月30日	12月8日	± 4日	12月13日
2	10月29日	12月7日	± 4日	12月6日
3	11月4日	12月12日	± 4日	12月15日
4 ^{※2}	11月2日	12月12日	± 3日	12月16日
5 ^{※2}	11月7日	12月17日	± 3日	12月13日
6 ^{※2}	11月5日	12月15日	± 3日	12月18日
7	10月21日	12月6日	± 3日	12月8日
8	11月6日	12月14日	± 3日	12月9日
9	10月27日	12月6日	± 5日	12月4日
10	10月27日	12月6日	± 4日	12月7日
11	10月30日	12月9日	± 4日	12月14日
12	11月5日	12月16日	± 5日	12月8日
13	10月26日	12月4日	± 5日	12月5日
14	10月21日	12月5日	± 3日	11月28日
15	10月21日	12月1日	± 2日	11月27日
16	10月23日	12月3日	± 2日	11月29日
17	10月22日	11月30日	± 2日	12月1日
18	10月21日	12月1日	± 3日	12月4日
19	10月24日	12月3日	± 3日	11月26日
20	10月16日	11月26日	± 3日	11月25日
21	10月17日	11月27日	± 3日	11月24日
22	10月24日	12月2日	± 4日	12月1日
23	10月25日	12月3日	± 4日	12月2日
H24	10月21日	11月29日	± 3日	-

※1 生殖腺指数＝生殖腺重量／内臓除去重量×100

※2 網掛けは、ハタハタ全面禁漁期間中のモニタリング調査結果。

表2 底びき漁場付近の11月上旬の水温（定点位置をp. 5に示す）

入道崎沖 5マイル(St.1)										
年	0m	10m	20m	30m	50m	75m	100m	150m	200m	300m
H7	19.8	19.8	19.8	19.6	19.6	18.8	14.8	10.5	5.5	1.3
H8	18.5	18.5	18.4	18.5	17.8	15.3	14.4	10.0	5.3	1.7
H9	18.3	18.3	18.3	18.3	18.4	18.6	17.3	12.3	6.2	1.7
H10	19.5	19.6	19.6	19.5	19.4	18.9	17.1	12.4	4.3	1.3
H11	18.7	19.2	19.1	19.2	19.2	19.2	18.0	11.2	5.0	1.4
H12	20.4	20.2	20.2	20.2	20.2	16.4	14.1	8.0	3.1	1.2
H13	17.9	18.6	18.6	18.6	18.6	16.5	13.2	8.9	4.4	1.1
H14	18.0	18.7	18.7	18.7	18.7	18.6	17.4	13.0	8.3	1.7
H15	17.8	18.6	19.0	19.2	19.3	19.3	19.2	13.4	5.9	1.7
H16	18.8	19.2	19.2	19.2	18.3	13.7	11.5	8.3	4.1	1.3
H17	19.0	20.3	20.3	20.3	20.3	17.7	15.2	10.0	5.1	1.5
H18	19.0	18.8	18.8	18.8	18.3	16.0	14.6	8.4	4.2	1.3
H19	19.4	19.8	20.0	20.1	20.1	17.5	15.3	10.9	3.4	1.5
H20	19.8	20.5	20.5	20.5	20.5	17.8	15.2	10.6	5.9	1.6
H21	18.3	18.3	18.3	18.3	18.2	18.1	15.6	10.2	5.3	1.6
H22	18.1	18.6	18.6	18.6	18.3	16.1	13.7	9.3	5.0	1.3
H23	19.8	19.7	19.7	19.6	19.4	17.4	15.4	11.6	6.3	1.4
平年値	18.5	18.6	18.7	18.7	18.6	17.9	15.9	10.8	5.7	1.5
H24	17.4	18.2	19.1	19.0	18.6	17.8	16.4	11.7	7.5	2.1
偏差	-102	-49	44	36	-6	-7	28	42	88	65
	やや低い	平年並み	やや高い	やや高い						

偏差：100×(水温－平年値)／標準偏差

±60以下……平年並み

-61～130……やや低い

-131～200……かなり低い

-200以下……はなはだ低い

※平年値は過去30年間の平均

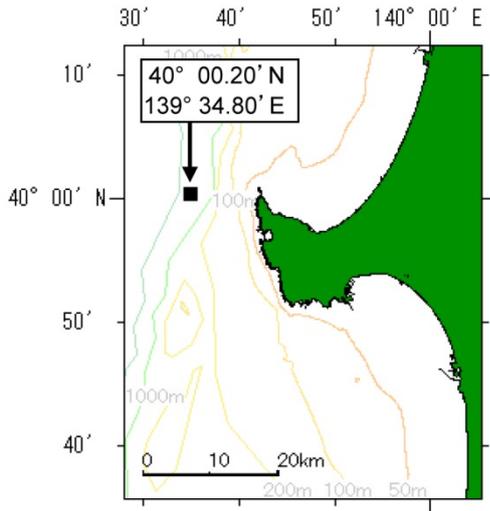


図3 観測定点

- ・ 男鹿半島沖の定点 St. 1 ($40^{\circ} 00.20' N$ 、 $139^{\circ} 34.80' E$) において、9月4～5日、10月9日及び11月16日に海洋観測を行った結果、水温の状況は次のとおりであった。
- ・ 9月の水温は、表層付近の水深 20m までは H22 年同様かなり高めの状況にあったが、水深 50m 以深では他の年との間で差は認められなかった。
- ・ 10月の表層付近の水温は引き続き高い状況にあったが、水深 75m 以深では特に高い状況にはなかった。
- ・ 11月は、表層付近の水温は順調に低下している。一方、水深 100m 以深ではやや高めの傾向がみられる。

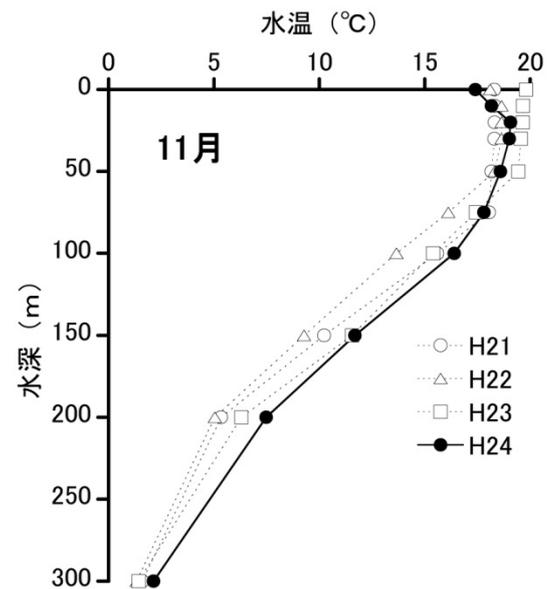
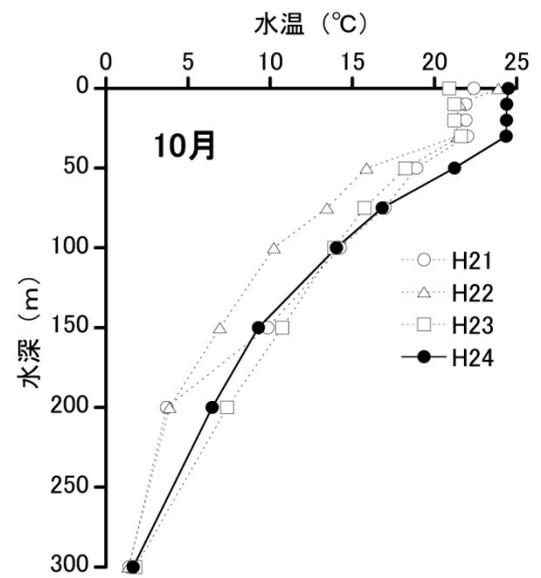
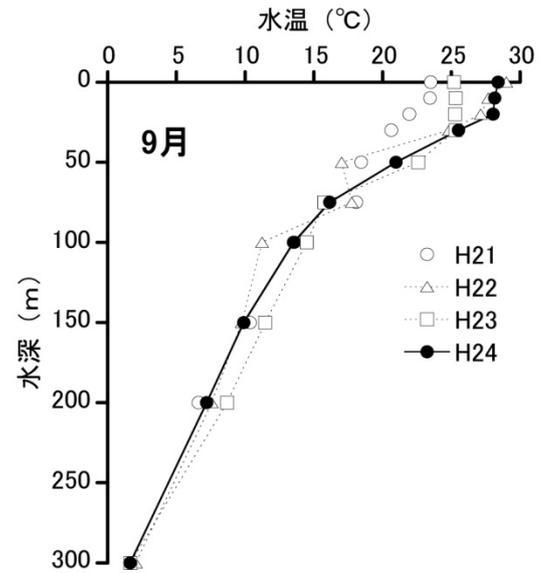


図4 水温の観測結果

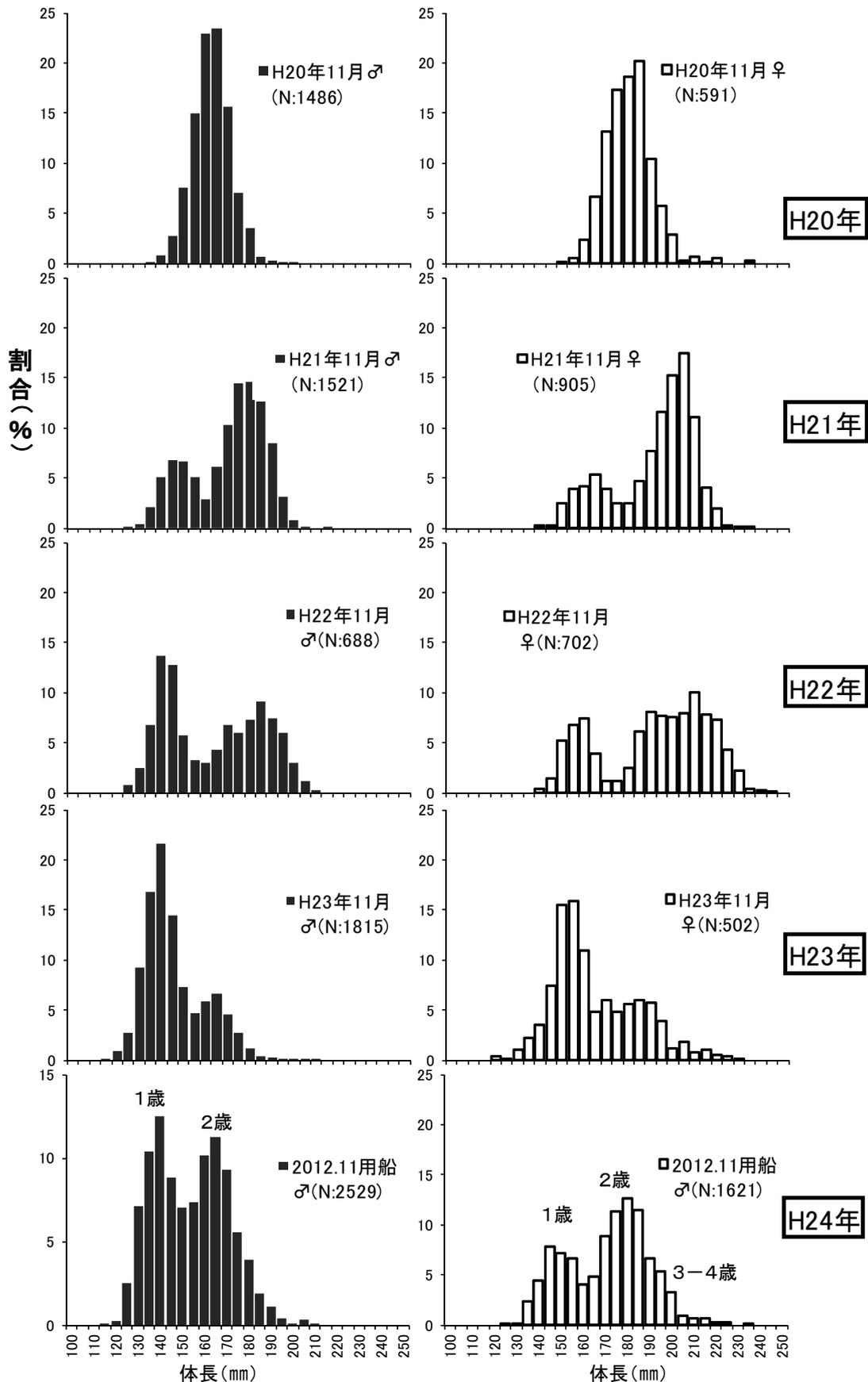


図5 11月の底びき網でのハタハタ体長組成

【今年の傾向】

◎11月にシングル周辺で採集されたのは、オスでは体長14cmと16.5cmの割合が高く、メスでは14.5cmと18cmの割合が高いほか、20cm以上の個体も目立つ。

→オス・メスとも1、2歳が主体となり、雌では3-4歳も比較的多い。

2012年11月15日 用船調査結果(漁場はシグレ周辺)

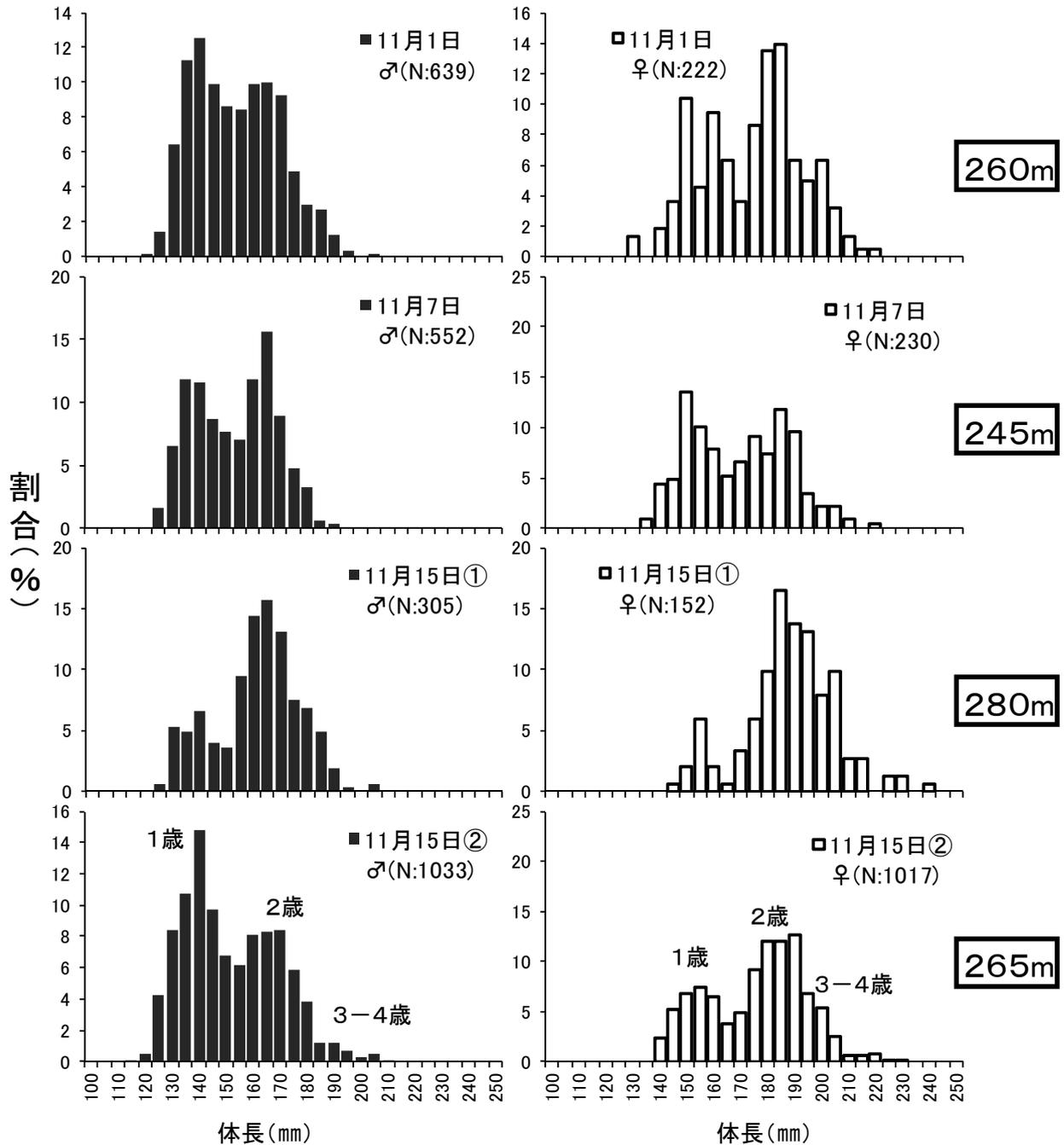


図6 底びき網でのハタハタ体長組成(2012年11月)

【傾向】

- ◎11月のシグレ周辺では、オス・メスとも1歳と2歳の割合が高いものの、調査日あるいは水深でそれぞれの比率が異なっていた。
- ◎11月上旬に比べて中旬には、特に深場で大型のメス(体長20cm以上)の割合が高まった。オスは浅場では小型(15cm以下)の割合がやや高いが、中型(16-17cm)もかなり多い。

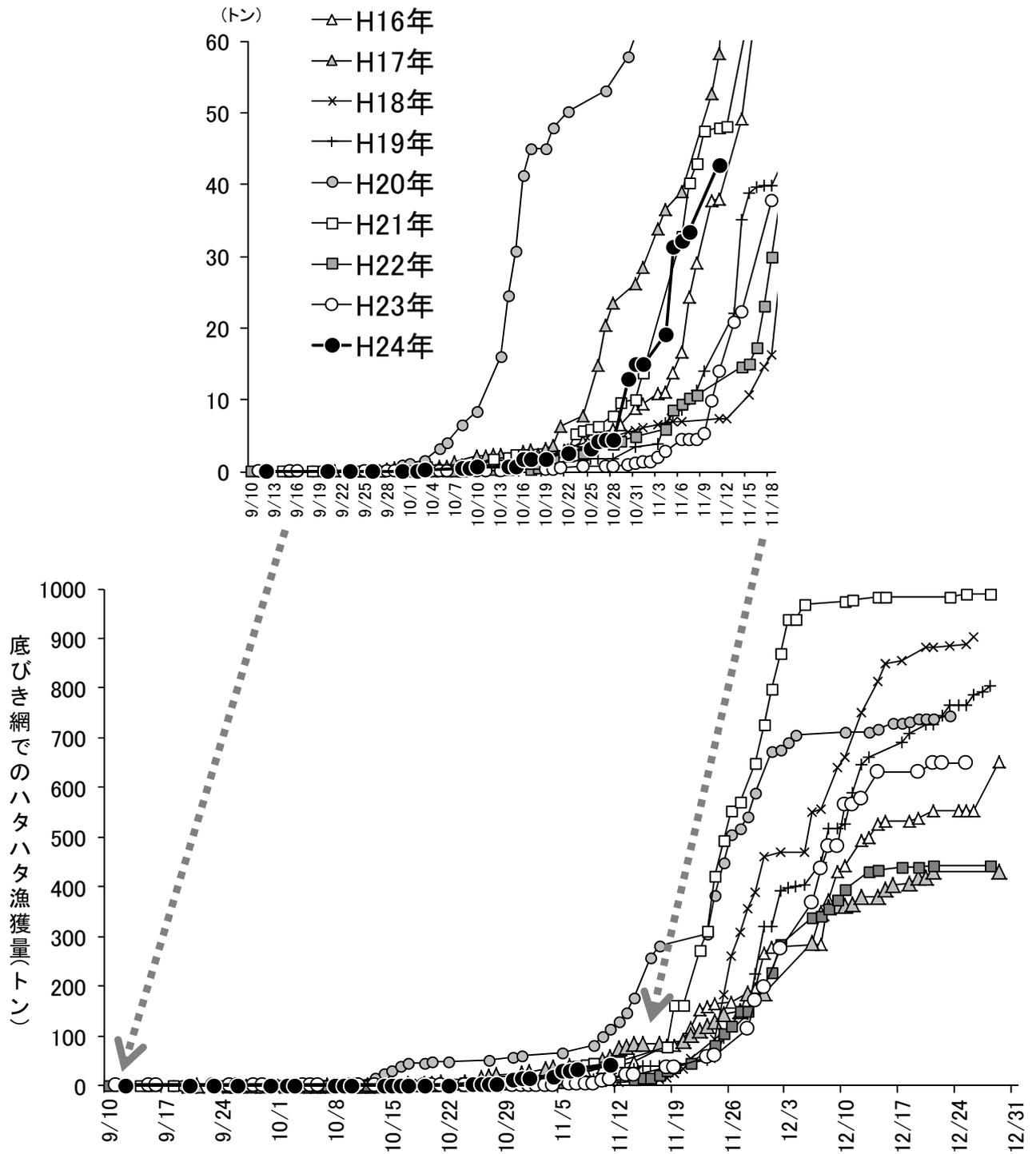


図7 底びき網でのハタハタ漁獲量の推移(累積値)
 (上;9月10日~11月15日、下;9月10日~12月31日)

【今年の傾向】

- ◎今季は10月中旬から漁が始まり、10月末には10トンを超え、平年並みに推移している。
- ◎11月15日時点での漁獲量は50トンを超えており、昨年同期の3倍以上に達している。